

クリティカルシン キングとは？



クリティカルシンキングでは問題の特定から結論の導出までのステップを経て、合理的な結論を導き出します。

問題の特定

問題を明確にし、解決すべき課題を特定します。

情報の収集と分析

関連情報を集め、その信頼性や妥当性を評価し、情報を分析します。

仮説の立案

収集した情報を基に仮説を立てます。仮説は調査やデータに基づいている必要があります。

論理的な推論

仮説の妥当性を論理的に検証し、結論に至るプロセスを展開します。

結論の導出

論理的な推論を経て、最終的な結論を導き出します。結論は前提に基づいており、正当性が求められます。

自己反省

ステップを振り返り、自身の思考プロセスの妥当性を評価します。

事例：製造業における生産効率の低下

ある製造業の工場で、過去数カ月により生産効率が徐々に低下していることが分かりました。この状況が続けば、納期遅延やコスト増加につながり、最終的には顧客満足度の低下を招く可能性があります。



データ収集

生産効率低下の具体的なデータを収集します。生産量、作業時間、不良品率など、関連する数値を詳細に調べます。

現状分析

収集したデータを基に、生産プロセス全体を分析します。この段階では、特に生産効率の低下が顕著な工程やタイミングを特定します。

仮説の立案

データ分析を基に、生産効率低下の原因となっている可能性が高い要因について仮説を立てます。例えば、機械の老朽化、作業員のスキル不足、原材料の品質低下などが考えられます。

仮説の検証

立てた仮説を検証するため、さらに詳細な調査や実験を行います。例えば、機械のメンテナンス記録の確認、作業員へのインタビュー、原材料の品質検査結果の再評価などが行われます。

問題点の特定

検証の結果、生産効率低下の主な原因が特定されます。この事例では、複数の機械が予定されたメンテナンスを受けておらず、その結果、機械の性能が低下していたとします。

データドリブンとは、意思決定や問題解決プロセスにおいて、直感や経験だけでなく、客観的なデータを基に行動や判断を導くアプローチ

客観性の確保

個人の直感や偏見に左右されず、客観的なデータに基づいた判断が可能になります。

精度の向上

データ分析に基づく洞察は、より精度の高い情報を提供し、効果的な意思決定をサポートします。

リスクの軽減

確かなデータに基づくことで、意思決定のリスクを軽減し、より安全な選択が可能になります。

成果の測定

施策の効果を定量的に測定し、改善点を明確にすることができます。

あるITベンダーでは、複数のプロジェクトで納期遅延が発生しています。この状況は、顧客満足度の低下、信頼性の損失、ペナルティ料金の発生など、企業の業績に直接的な悪影響を及ぼす可能性があります。



データ収集



現状分析



仮説の立案



仮説の検証



問題点の特定



データ収集

納期遅延の発生しているプロジェクトのデータを収集します。プロジェクトのスケジュール、タスクの進捗状況、チーム構成、コミュニケーションログなど、関連する情報を詳細に調査します。

現状分析

収集したデータを基に、プロジェクト管理プロセス全体を分析します。この段階では、納期遅延の特に顕著なフェーズやタスクを特定し、問題の根本原因を探ります。

仮説の立案

データ分析を基に、納期遅延の原因となっている可能性が高い要因について仮説を立てます。例えば、要件定義の不明瞭、リソースの不足、技術的な課題、コミュニケーションの不足などが考えら

仮説の検証

立てた仮説を検証するため、さらに詳細な分析や関係者へのインタビューを行います。ここで、特定のフェーズやタスクにおける問題点やボトルネックを明らかにします。

問題点の特定

検証の結果、納期遅延の主な原因が特定されます。この事例では、要件定義の段階での不明瞭さが、後続のプロセスにおける混乱と遅延を引き起こしていたとします。

クリティカルシンキングは、現代社会において必要不可欠なスキルです。情報の過多や複雑な問題解決に直面する中で、意思決定の質を高めるためにはクリティカルシンキングが重要です。

01 情報の過多

インターネットの普及により、私たちは膨大な情報にアクセスできるようになりました。その中から信頼できる情報を見極める能力が求められます。

02 複雑な問題解決

現代社会は単純な解答が存在しない複雑な問題が多くあります。クリティカルシンキングを用いて多角的な視点から問題を分析し、解決策を導き出す能力が必要です。

03 意思決定の質の向上

クリティカルシンキングを鍛えることで、より論理的で批判的な思考を持ち、賢明な意思決定が可能となります。

クリティカルシンキングを鍛えるためには、多読多聴、ディスカッションの参加、反論する練習が効果的です。

多読多聴

さまざまな分野の本を読んだり、講演を聴いたりすることで、幅広い知識と視野を持つことができます。

ディスカッションの 参加

ディスカッションで他者の意見や視点に触れることで、思考力を鍛え、自分の考えを深めることができます。

反論する練習

与えられた主張に対して反論を考えることで、論理的思考力を高めることができます。

クリティカルシンキングを駆使したディスカッションのテーマ例

01 SNSの影響

SNSの普及によるコミュニケーションや情報拡散の変化、個人のプライバシーへの影響などを取り上げる

02 AI技術の倫理的課題

AIの発展が個人のプライバシーや公正な意思決定に及ぼす影響、著作権や雇用の問題などを議論のトピックとして提示する

03 持続可能な生活の実現方法

環境問題に対する対策や再生可能エネルギーの利用、持続可能な消費と生産の概念などについて考える

効果的なディスカッションを進めるためには、問題の明確化や客観的データの収集など、様々なコツがあります。



問題の明確化とは？

ディスカッションの前にテーマや問題点を明確にし、話し合いの方向性を定めることです。

他の視点を尊重しよう

相手の意見を聴き、異なる視点を取り入れることで、より豊富な議論になります。

生成AIの潜在的なリスクを理解する

POINT **01**

悪意あるデータの活用

POINT **02**

偽情報の拡散

POINT **03**

プライバシーの侵害

POINT **04**

差別的な意思決定の可能性

POINT **05**

テクノロジー依存の促進

POINT **06**

倫理規範の欠如



リスクをゼロにすることは 不可能

完全なリスク回避は不可能。どちらを選ぶか考える必要がある。

リスク管理的にはどちらを選択する？

1000万円を得るためにスカイツリーからダイブするの
か？それとも100万円のために5階からのダイブを選ぶの
か？

リスク管理の範囲と許容度が異なることに着目

他社依存



電車や飛行機においては他者が
リスクを管理

自己管理



車でのリスクは自己責任である
ため、自己管理が必要

リスクを管理するためには、自己管理と他社依存のバランスが重要です。

自己管理が不十分だと、リスクを正しく把握できない可能性があります。

他社に依存しすぎると、独自のリスク管理能力が低下するおそれがあります。